

2026 年度（令和 8 年度）

修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）【支援要項】

【目的】 グローバルに活躍できるイノベティブな人材育成を目指すために開講する「修士海外研究開発実践科目」を履修し、3 カ月（以上）の期間、海外の大学・研究機関・企業（研究所）等において修士研究テーマに関連したリサーチ・インターンシップを行う修士課程学生を支援する。

【支援内容】 70 万円を上限に旅費（国内外の交通費及び滞在費）を支援する。

【支援対象学生等】

1. 対象学生：修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）を履修する日本人修士学生
※本プログラムにおける日本人とは、日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者を指す。
2. 支援人数：1 人 70 万円を上限に、年間合計最大 6 名程度を支援する。
3. 応募の条件
 - 3.1 学業・人物とも優秀な者
 - 3.2 派遣先におけるリサーチ・インターンシップに十分な語学能力があること
 - 3.3 指導教員及び保証人（父母等）の了承を得ること
 - 3.4 派遣先で積極的に研究開発を推進し、また、語学のレベルアップに取り組む意欲のあること
 - 3.5 派遣先から渡航費及び滞在費の支援を受けないこと
 - 3.6 日本学生支援機構（JASSO）トビタテ！留学 JAPAN 及びその他の給与型海外留学支援奨学金の奨学生でないこと
4. 申込方法等
 - 【募集方法】 随時受付
 - 【申込締切】 募集定員 6 名に達し次第、締切
 - 【提出書類】 様式 2：支援申請書
様式 3：実施見積り書
 - 【提出方法・提出先】 原本持参のうえ、学務課教育交流係へ提出すること

※応募人数が多数の場合など、必要に応じ書類選考・面接を行う。なお、選考にあたっては、学部 4 年生次に海外実務訓練を行っていない者を優先する。

【その他】

1. 旅費は、滞在先の宿舍（寮またはアパート等）の状況により、減額調整を行うことがある。
2. 学位申請の手続きについて、必ず指導教員と確認すること。
【例】 3 月修了の場合、例年 11 月下旬に申請書類を提出し、1 月下旬から 2 月末までに論文提出・発表会が実施される。派遣期間が重なる場合の対応について確認すること。

以 上

様式 2

2026 年度 修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）
支 援 申 請 書

年 月 日

長岡技術科学大学長 殿

私は、修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）の支援を希望するので、以下のとおり申請いたします。

分野・学年	工学分野 第 学年	学籍番号	
ふりがな 氏 名			
連絡先番号（携帯 電話又は自宅）			
連絡先 E-mail			
英語の語学力	実用英語検定試験（ 級） TOEIC（ 点） TOEFL（ 点） その他（ ）		

【支援希望理由】（500 字程度）